

1 あおいジャッカル インドの昔話



- ① マーシャ・ブラウン/作  
こみやゆう/訳
- ② 瑞雲舎
- ③ 1300円
- ④ E

世界最古の子ども向け物語集からの一話。ジャッカルは、ひよんなことから毛色が青色になります。とたんに他の動物たちから尊敬され、動物たちの王様になります。インドの人たちにとって青色は神の色なのです。

2 あめだま



- ① ペク・ヒナ/作  
長谷川義史/訳
- ② ブロンズ新社
- ③ 1500円
- ④ E

外国の絵本ですが、翻訳は関西弁。ひとりで遊ぶドンドンが、ビー玉と思ったあめ玉をなめると、ふしぎな声がきこえてきました。その声をきくうちにドンドンの心も変わっていきます。人形を使った表現もユニークです。

3 うずらかあさんとたまご



- ① 島野雫/さく・え
- ② 東京画劇
- ③ 1300円
- ④ E

産んだばかりの自分の大切な卵がころがってしまったうずらかあさん。へびやカラス、おおかみたちに食べられないよう、やりとりに気を付けながら捜します。でも、みんな真心をもって捜してくれます。優しいきもちが伝わってきます。

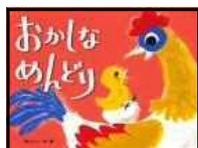
4 エメラルドのさがしもの



- ① そのだえり/作
- ② 文溪堂
- ③ 1500円
- ④ E

ちいさなりスのエメラルド。家には、うさぎのガーネットのお客様ばかり訪ねてきます。そこで、ガーネットのお手伝いをすることにしたエメラルド。すると、ピアノの中の指輪をみつけたり、ボタンを探してあげたり大活躍します。

5 おかしなめんどり



- ① 林なつこ/作・絵
- ② 鈴木出版
- ③ 1300円
- ④ E

ある日、ぬすつとぎつねが鶏小屋のわらの敷物を全部盗みました。そこには、めんどりとお腹の下のひよこと卵が…。どんな料理にしようかと考えているぎつねと、めんどり家族の知恵比べが始まります。さて、どうなるのでしょうか。

6 おっぱいごりら



- ① 聞かせ屋。けいたろう/ぶん ひろかわさえこ/え
- ② アリス館
- ③ 800円
- ④ E

ぽこぽこ胸をたたくのは、ぱぱごりら。ママごりらは、おっぱいを与えてくれます。そして、ぱぱごりらも登場です。短い言葉にリズムがあって、温かいタッチで描かれています。親子で笑顔があふれるとともにほっとする絵本です。

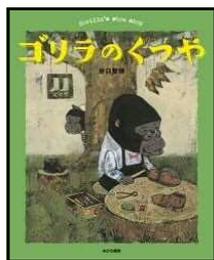
7 こすずめとゆき



- ① 深山さくら/文 黒井健/絵
- ② 佼成出版社
- ③ 1300円
- ④ E

こすずめはそれが雪だと知らずにおかあさんすずめに次々と質問をします。おかあさんすずめはひるまの疲れでうとうと。外は雪で寒く冷たいはずなのに、すずめのおやこの様子は、なぜかあたたかく感じられます。

8 ゴリラのくつや



- ① 谷口智則/作
- ② あかね書房
- ③ 1400円
- ④ E

ぼくのとうちゃんゴリラのくつや。森の動物たちに大評判です。ぼくも作ってほしくて、空を飛べるくつをお願いしました。さて、どんなくつができたのでしょうか。ゴリラの親子のほのぼのとした情感が描かれている絵本です。

9 これあな



- ① みやにしたつや/作・絵
- ② 鈴木出版
- ③ 1300円
- ④ E

自然の穴。動物の巣穴。大小の穴。身近にある穴。めったに見られない穴。いろいろな穴の中がどうなっているのかと好奇心をそそられ、想像する楽しさも味わえる絵本です。表紙に穴があるしかけもあります。

10 たっちだいすき



- ① 聞かせ屋。けいたろう/ぶん ひろかわさえこ/え
- ② アリス館
- ③ 800円
- ④ E

「たーっち！」わんわんやニャンニャン、うさぎさん、ぱんださんと次々に動物とたっちを楽しむ赤ちゃん。思わず、絵本の中の動物たちと「たーっち！」したくなります。読んだ後は、親子でタッチしたくなる参加型赤ちゃん絵本です。

11 チトくんとにぎやかないちば



- ① アティヌーケ/文  
アンジェラ・ブルックスバンク/絵  
さくまゆみこ/訳
- ② 徳間書店
- ③ 1600円
- ④ E

チトくんは、お母さんにおんぶされて市場にやってきました。そこで、チトくんは、市場の人たちからいろんな食べ物をもらい一つ食べては残りをお母さんの頭の上のかごにぼいっ。西アフリカの楽しい市場の様子が分かる絵本です。

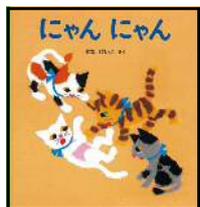
12 どしゃぶり



- ① お一なり由子/ぶん  
はたこうしろう/え
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ E

ぽつっ。ばらばらっ。ずだだだだだだ。じゃばば。ぱっしゃーん。  
どしゃぶりの日の雨の音をいろいろな表現で表しています。雨の音でどんな雨の様子が分かり、実際に雨の音が聞こえてきそうな絵本です。

13 にゃんにゃん



- ① せなけいこ/さく
- ② 福音館書店
- ③ 900円
- ④ E

ねこの大好きな女の子。「ねこちゃんいっしょにあそびましょう」むりやり女の子が抱っこすると、子猫は嫌がって逃げ出します。女の子が子猫を追いかけていくと……。子猫の様子が貼り絵で魅力たっぷりに表現された絵本です。

14 ねむたいねむたい



- ① やぎゆうげんいちろう/作
- ② 福音館書店
- ③ 800円
- ④ E

「ねむたいねむたい」や「ねーたーよー」のことばの繰り返しと呼びかけるような文章で、なすびやかぼちゃの子たちが寝ていきます。読み聞かせをしているうちに赤ちゃんも一緒に眠りに誘われるような絵本です。

15 ひよこのピケキョ



- ① ジャーン・ブライアン/さく  
ダニー・スネル/え  
ひこ・田中/やく
- ② 東京書店
- ③ 1500円
- ④ E

「ピケキョ。」これがピーちゃんの泣き声。みんなに「ちがうよ。」と言われたので、世界中を見て回ることにします。ほとんどの動物から「ちがうよ。」と言われます。でも、ブタから「それでいいんだよ。」言われます。お互いを受け入れることの大切さを描いています。

16 ぼく、おたまじゃくし？



- ① 田島征三/作・絵
- ② 佼成出版社
- ③ 1300円
- ④ E

ぼくはおたまじゃくし。ぼくだけ、足も手も生えてきません。他の兄弟がかえるになり、池からでていき、ぼくは他の生き物の中でひとりぼっちになってしまいます。ダイナミックな絵で身近な水生動物が描かれている絵本です。

17 まいにちがプレゼント



- ① いもとようこ/作絵
- ② 金の星社
- ③ 1400円
- ④ E

昨日の朝は、今日の朝とはちがいます。今日はどんどん過ぎていき、明日が今日になっていきます。わたしたちは、毎日新しい「今日」をプレゼントされているのです。作者からのメッセージがたくさんつまった絵本です。

18 ママは知らないの？



- ① ふくだいわお/作
- ② 光村教育図書
- ③ 1200円
- ④ E

ママはぼくのことをすぐ叱る。「ママきいて。」ぼくできるようになったことがたくさんあるんだよ。ぼくはママのことをたくさん知っているんだ。ぼくは世界中のママの中でぼくのママが一番好き。読みながら心が温くなる絵本です。

19 みーせーて



- ① スギヤマカナヨ/著
- ② アリス館
- ③ 950円
- ④ E

合わせた両手の中には、何が入っているのかな。いい音のするもの、くすぐったいものなど好奇心をくすぐられます。「なにはいつているの？」「みーせーて」「いーいーよ」の繰り返しのリズムが心地よい絵本です。

20 わくわく！れっしゃでかぞくりょうこう



- ① サトシン/作  
羽尻利門/絵
- ② 交通新聞社
- ③ 1300円
- ④ E

お父さん、お母さん、弟とぼくは、初めての列車旅行にでかけます。普通列車から特急列車に乗り換えて、みんなでお弁当を食べたり、窓の外の景色を見たりして目的地に向かいます。家族のワクワクする気持ちが伝わってくる絵本です。